

科目名				授業の種類		授業担当者	
保育原理Ⅱ				講義		福田典子	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
2	2	30	15	前期	幼免:選択	保育士:選択	
〔授業の目的・ねらい〕 時代のニーズに適した保育として、何を求められ、何を目指して行けば良いのかを自ら追及し続けるために、保育実践を支える保育原理について深く考究し、理解する。							
〔授業全体の内容と概要〕 保育の意義と理念について基礎的事項を学ぶ。また、法令で定められた保育者の責務を理解する。これらを通して、保育の基本となる子どもの捉え方や保育者としての専門性向上の重要性について学ぶ。							
〔受講上の注意事項〕 実践的な内容である他の科目や学外における様々な実習経験と関連づけながら、本科目で学ぶ内容と相互補完を意識して、自分なりに保育についての理解を深めるよう意識してください。							
〔使用テキスト〕 「保育者養成シリーズ 保育原理」 林邦雄、一藝社2200円				〔評価基準〕 定期試験(7割)、授業内レポート、出席状況、授業への参加状況などを総合して			
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕							
回	項目		授業内容				
1	オリエンテーション		授業内容や進め方の全体的な流れを理解する				
2	保育者になるための学び		保育者に必要な資質・技能・態度を理解する				
3	保育者としての専門性		保育者の専門性とは何か、向上させることの重要性について理解する				
4	保育者のキャリア形成		保育者がより質の高い保育を考究し続けるために、保育の業務内容やキャリアアップや家庭生活との両立等について理解する				
5	児童福祉施設における保育者の役割		児童福祉施設において保育者にはどのような専門的な役割が期待されているのかについて理解する				
6	教育・保育における基本的法令		日本国憲法、児童福祉法、児童憲章、児童の権利に関する条約等の法令など、保育士のあり方に関する基本的な法令について、その内容や意味を理解する				
7	教員免許状		幼稚園教諭免許状について、その位置づけを理解する				
8	保育士資格		保育士資格について、その位置づけを理解する				
9	保健・安全に関する対処		学校保健安全法、児童虐待の防止等に関する法律等の保育に関する事項の取り扱いについて理解する				
10	保育事故と保育者の法的責任(1)		刑法と業務上過失致死罪に関わる保育者の責任について理解する				
11	保育事故と保育者の法的責任(2)		安全注意義務違反に関わる保育者の責任について理解する				
12	多様化する保育ニーズ		多様化する保育ニーズについて、その実情や課題について理解する				
13	保育者としての倫理観		保育者としての倫理観について自分なりに再確認する				
14	保育とは何かを振り返る		子どもにとって最善の保育のあり方、保育士のあり方とは何かをこれまでの学習とふまえて、自分なりに再構築する				
15	試験						

実務教員としての経歴	
実務経験と授業の関連	